

議事要旨(2) IASB/FASBにおけるリース・プロジェクトの検討状況

冒頭、小賀坂副委員長（専門委員長）より、IASB/FASBにおけるリース・プロジェクトの検討状況について説明があり、これに続き神谷シニア・プロジェクト・マネージャーより、説明資料〔審議事項(2)〕に基づき、2014年4月及び5月のIASB/FASBの共同審議で行われた議論についての詳細な説明がなされた。

説明された内容に対する委員からの主な意見等と、それに対する事務局からの主な回答は次のとおりである。

- ある委員より、リースとサービスの区別に関する議論についての方向性などの補足情報があればご教示いただきたいとの質問があった。
これに対し事務局からは、2014年3月にIASBとFASBがそれぞれ借手の会計モデルについて異なる暫定決定を行っているとの回答がなされた。さらに、事務局からは、欧州ではリース、サービス及び未履行契約の間の関係をしっかり議論して範囲を絞ったうえでIASBが暫定決定した会計モデルがいいという意見が聞かれることなどが紹介されたほか、また、事務局では、リースの定義、リースとサービスの区別、少額資産の取扱いなどの会計モデルに与える影響の大きい論点における議論の進め方次第で、リース・プロジェクトにおける最終的な結論が決まっていくのではないかと考えているとの回答がなされた。
- 同委員より、日本からIASB及びFASBに対して意見を発信する上でのスケジュール観についての質問があった。
これに対し事務局からは、公式にはASAFにおいて日本の考え方を伝えていくことになるとの回答がなされた。

以 上